

白聖

第07号 平成27年10月22日発行
題字 福井陽子(本校芸術科教員)



実力試しの秋、飛躍の秋

秋 も深まり、部活動の公式戦もひと段落して、腰を据えて勉強に励む時間がとれるようになったのではないだろうか。3年生は27日・28日に第四回実力テスト、1・2年生は31日・1日に進研模試（1年生は31日のみ）が実施されます。漫然と受けることなく、目標点を設定し、弱点分野を克服した上で受験してください。受験後は自己採点↓誤答分析↓復習という流れで手当てをし、二学期期末考査対策へとつなげましょう。

特集

変革を迫られる国立大学

改革の背景

現代はグローバル化や少子高齢化など、社会情勢が急激かつ多方面で変化しており、そうした時代を担う人材の育成が急務となっています。教育分野への変化の要請は強く、とりわけ国立大学法人に対する産業界からの意見は厳しいものがあります。それを受け文部科学省は、平成25年に「国立大学改革プラン」を策定し、それに基づいて各大学は組織再編や「ミッションの再定義」を行い、特色や強み、社会的役割の見直しを行いました。

国立大学のグループ分け

そうした中、平成28年度年度から全国にある国立大学を「世界最高水準の教育研

究」「全国的な教育研究拠点」「地域活性化の中核」の**3グループに分類**し、各グループ内で高い評価を得た大学に運営費交付金を手厚く配分して競争を促す、という方針が打ち出されました。それをふまえて、今年6月に各大学は平成28年度から6年間の「第3期中期目標」の素案を発表しました。各大学とも競争への生き残りをかけ、学科再編や特色のある教育プランを打ち出し、達成目標を掲げています。多くの国立大学が来年度からの学科再編・統合を続々と打ち出しているのは、こうした大学改革の大きなうねりが背景にあることを皆さんも知っておくべきです。

学科再編・定数変更

そのなかで生徒の皆さんにとって影響があるのは、学科再編と募集定員の変更です。地元**弘前大学**でも、平成28年度入試（現3年生が受験）から教育学部・人文学部に大き

旧	新
人文学部 人間文化[115] 現代社会[110] 経済経営[120]	人文社会科学部 文化創生[110] 社会経営[155] ●定員80減
教育学部 学校教育教員養成[145] 養護教諭養成[25] 生涯教育[70]	教育学部 学校教育教員養成[150] 養護教諭養成[20] ●生涯教育[廃止]

弘前大学公式 HP 発表をもとに作成。

な変更があります（表参照）。弘前大学全体では人文学部（人文社会科学部に改称）が80人減、教育学部が70人減、理工学部80人増、農学生命80人増となり、文系学部を減らし、理系学部を増やしています。これも、大学の地域におけるミッションを再定義した結果です。また教育学部生涯教育課程の廃止は、**教員免許取得を卒業の要件としない課程（ゼロ免）を廃止していく**、という文部科学省の方針に沿ったものです。教員養成という学部の役割をより明確にする、という意思表示でもあります。この動きは先にも述べたとおり全国的なものですから、人文学部を志望する生徒諸君は、昨年度までであったゼロ免課程を出願先として想定することができなくなり、そもそも文系定員が減少しますから、激戦になっていきます。文型理系を問わず（変革のキーワードの一つは「文理融合」）、広く日本全国に視野を広げ、大学が求める学生像、カリキュラム、教育方法などを吟味して、自分の目標に合致した大学を選ぶ目を養ってください。

入試方式の変更

この変革は、大学自身が意識・目標を変えられるものであるため、求める生徒像にもより鮮明にその思想が反映され、選抜方法や入試科目などの入試システムの変更を伴います。その入試の導入・定員枠の拡大、**活動報告書**や**レポート**の提出、**プレゼンテーション**や**集団討論**など、在学時の実績に基づいた、強く明確な「学ぶ意欲・目的」を評価しようという動きが活発化しています。絶えず情報をキャッチしましょう。

11月の目標	1学年	2学年	3学年
	テストを活かす	進路志望の具体化	限界に挑戦

行事レポート① M-プロジェクト
医学科ワークショップ演習 9月30日

二学期中間考査最終日の午後、弘前大学医学科在籍の本校OB4名を講師に迎え「ワークショップ演習」を実施しました。対象は医学科進学を志す1・2年生で、参加者は47名。1・2年生混在の6つの班をつくり、「医師になる上で医学以外に学ばべきことは何か」というテーマについてKJ法を用いて意見を出し合い、一枚の模造紙に結論をまとめました。この「ワークショップ」形式は、弘前大学医学部AO入試で採られているものです。付箋紙に思いつくまま自分の意見を書き出し、班員で似たような意見を集約していく中でコミュニケーション能力が試されます。慣れない体験にはじめこそ戸惑った様子でしたが、初めて言葉を交わす相手ともすぐに協力し合って活発に意見を出し合っていました。参加生徒の多くは「進路ノート」を用意し、普段から医療関係の記事をスクラップして自分の意見をまとめるなど、主体的かつ継続的に学んでいるようです。そうした日ごろの努力が垣間見え、講師を務めたOBは「初めてなのに活発に議論を進められており、SGHの取り組みが生き生きと感じたと



高く評価していました。医学部志望者以外の生徒にもぜひこの姿勢を見習ってほしいものです。ぜひMプロジェクト生徒の「進路ノート」を見せてもらいましょう。

行事レポート②
進路講演会(1年・2年) 10月8日

二学期中間考査を終えた翌週、1年生対象、2年生対象の各進路講演会を開催しました。

1年生対象の講師は駿台予備学校仙台校の高久裕己氏。「難関大学合格を目指して」と題し、進路達成への心構えや普段の学習で大切にすべきことなど、基礎的な内容から、「難関大」といわれる大学の魅力にいたるまで、豊富なデータに基づいてお話しいただきました。

2年生は河合塾仙台校佐々木一幸氏による講演でした。長年浪人生と接してきた氏ならではの熱い語りに、生徒諸君は引き込まれていたようです。その中で、「地方進学校の生徒と、都市部の私立進学校の生徒の決定的な差は、『集中力とこだわり』だ」とおっしゃっていました。講演後生徒は「2年生の今、勉強への姿勢を改め、全国のライバルを意識して第一志望を買きたい」と感想述べていました。



1・2年生ともに、心にともった炎を絶やさないうちに、行動に移してください。

2015/10-11月 おもな進路行事			
	1学年	2学年	3学年
28 火			第4回実力テスト
29 水			第4回実力テスト
31 土	進研模試	進研模試	駿台実戦模試
1 日		進研模試	駿台実戦模試
5 木		大学ドリーム講座	
7 土	東大地方出張セミナー(本校)/ドクタートーク(五所川原)	東大地方出張セミナー(本校)/ドクタートーク(五所川原)	
12 木	職業講話		
14 土			ベネッセ駿台マーク模試
15 日			ベネッセ駿台マーク模試

■トピック - 2016 入試にむけて

センター試験出願完了 10/2

→本校受験者の書類が無事受理されました。

難関大対策講演会 Sプロジェクト 10/8

→3年生対象、河合塾佐々木氏

ワークショップ演習 10/12

→OBによる弘大医学科AO対策の演習を実施しました。

第3回推薦・AO集会 10/16

→書類の完成予定・小論文指導の受け方などの説明をしました。

東北大AOⅡ期出願完了 10/23

→21名が出願しました。